

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みなみん福山川口		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		~ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		~ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの個性を理解し、子どもの特性に応じた支援を提供している。	毎朝職員間でミーティングを実施している。その中で昨日の利用児童の状況や個別支援計画に基づいた課題などを振り返りしている。職員全員の意見を交わし合い、子ども一人ひとりに合った支援を考えている。午後からの勤務者に対しては、業務日報や会議議事録などを通して子どもの支援の進捗を把握するように工夫している。	必要時、午後出勤の職員も含めてミーティングを実施する。引き続き療育に関する外部研修の参加を行い、全職員のスキルアップを図る。
2	5領域を網羅できる活動を考えて活動内容に偏りが無い。	毎朝職員間でミーティングを実施。その際に集団活動を行う担当者が考えているプログラム発表し他のスタッフか補充できるように情報共有を行っている。子ども一人ひとりの成長段階に応じて個別の活動や小集団活動にするように工夫している。	引き続き外部研修の参加を行い、全職員のスキルアップを図る。
3	子どもに関する情報を保護者と共有する機会を多く設けている。定期的にモニタリングや子育てに関する面談・助言等の支援を行っている。	モニタリングは、年に2回必ず実施している。その際に子どもの頑張りたい事や苦手なことなどを面談して聴取している。また保護者の要望や子どもの家庭での状況、学校での様子などを共有している。事業所で行っている支援について説明している。また連携にも力を入れており小学校や相談支援員、他事業所などの連携し、子どもがどこで生活していても困らないように支援者の支援が統一できていることを目標に連携を行っている。	引き続き子どもの思いと保護者の思いを大切にしてい。全職員で情報を共有しながら、子ども一人ひとりがその子らしく成長できるように支援を考える。子どもの困り感だけに目を向けず、成長や子どもの得意なことにも更に伸ばしていくことができるような支援を心がけていきます。それを保護者と共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の開催については、慎重なご意見が多く開催には至っていない。	保護者も就労があり平日に父母会に参加する時間の確保が難しい。父母会が開催できない分、個別面談で支援の内容や助言を行うようにしている。子どもによって発達段階に差が大きく、悩みの共有が難しいというご意見もあり、保護者会の必要性を感じておられない方も多い状況です。	保護者のニーズを把握し、開催の希望者については少人数での開催など慎重に検討していく。
2	支援プログラムやご家族の方が参加できる研修などの情報提供が十分行われていないと感じている保護者がいた。	事業所の玄関先に掲示するなどしていましたが、口頭での情報提供が必要だった。また送迎を利用されている保護者には情報が届いていなかった。	今後は、HUGシステム内での支援プログラムの公表や研修会などの情報提供をしていく。
3	地域住民や地域の子どもたちと活動する機会が少ない。	市の開催イベントや地域の図書館や交流館、公園などの利用は定期的に行っている。その中で地域の子どもとの交流の機会があるが積極的に活動に取り入れることが出来ていない。	今後は、子ども達の安全面、特性なども踏まえて安心して交流できる機会を設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みなみん福山川口

公表日 2026年3月10日

利用児童数 24

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1				活動内容により机を除けたりレイアウトを変更しながら活動スペースの確保に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		3		人員基準に基づいた配置にしております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		3		お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	1	1	7		市が開催のイベントや交流館、図書館などの利用をしています。公園などでは地域の子どもと交流する機会もあります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	4	6	あれば参加したい。	家族対象の研修などがありましたら今後はHUGシステムなどでお知らせさせていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	20	2				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	1			半年に1回モニタリングを実施しています。それ以外の際も面談などを設けております。ご希望があればお申し付けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	6	8	父母会があるのなら参加してみたい	父母会に関しては、慎重なご意見が多く開催には至っておりません。前向きに開催できるよう検討して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		1		半年に1回モニタリングを実施しています。それ以外の際も面談などを設けております。ご希望があればお申し付けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			1	毎日の内容がわかりやすく掲載されているので安心しています。	ご意見ありがとうございます。今後も楽しく学んでいる子どもたちの様子を発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			4		国・市の指示のもと、各マニュアルの作成、防犯訓練、避難訓練、BCPなどを実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		4		国・市の指示のもと、BCPのマニュアルを作成し防犯訓練、避難訓練などを実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1				国・市の指示のもと、BCPのマニュアルを作成し防犯訓練、避難訓練などを実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				とても楽しいようです。	ありがとうございます。今後も子どもたちが楽しく学ぶことができる環境を提供できるように努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1				お気づきの点がありましたらご意見をいただけますと幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月10日			
事業所名		公表日 令和8年3月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動部屋が狭く感じる時がある。活動時は、机等を片付け活動スペースの確保に努めている。	思い切り体を動かす活動などは、地域の公園や体育館などを利用し工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員の配置は、適切に配置されている。休憩時も必要人員で対応している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		適切に配置や掲示物等を変えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		必要に応じて広く使えるスペースを確保している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウン時は、別室に移動して行っている。面談は、面談室で行っている。	
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎朝ミーティングを実施している。ミーティングに参加できない職員は、HUGシステム内の記録を読み情報共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	管理者が把握し、全職員に共有している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングで発言する機会を設けている。また定期的に管理者・代表と面談がある為、その都度意見を伝える機会がある。	午後出勤のスタッフは、毎朝のミーティングに参加できない為、午後から個別に行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	市の指示に基づいて運営をしている。運営指導後は、業務の見直し改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修への参加やオンラインでの研修に参加する機会が十分に確保されている。内部研修も定期的に行われている。	
適切 な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページ内に公表されている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		モニタリング前に児童から聞き取りを行っている。保護者や学校関係者などの意見も聞き取りしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的に利用者の支援会議の場を設け支援内容について話し合いができています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全職員が共通理解をし、支援ができています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	システムを用いて確認することができている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画書には、子どもの支援に必要な各項目を設定している。具体的に支援ができるように具体的に記載している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	朝のミーティング等で活動の内容を職員で共有している。	午後出勤のスタッフ（非常勤）は、ミーティングに参加できないことがある為、児童が来るまで非常勤を集めて別のミーティングを行いチームとして行えるようになっている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動の担当や内容を変えて、様々な活動ができるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		自由時間の遊びにもスタッフも参加し、個々の得意不得意をアセスメントし支援に活かしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝のミーティング時に児童の様子や支援内容の共有をおこなっている。全員で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	システムにある共有欄でいつでも共有できるようにし、後日のミーティングで必ず話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		システムにある職員共有欄に個別で記録を取り共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		支援会議を開催しスタッフから利用児童に対しての意見をもらいモニタリングを行っている。参加できないスタッフについては、出勤後個別で意見をもらっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		5領域をもとに日々の活動を考えている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7		児童同士で解決できることは、見守り自己決定できるように支援を行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達管理責任者だけでなく、管理者も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要時、保健・医療・教育機関・保育などに連携を取っている。また、放デイ協議会に定期的に参加し、横のつながりも大切にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		定期的に連携を行っている。すぐへ登録させていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		児童館が連携に行き、支援内容等の情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	18歳までの利用者がいないが提供があった場合は、提供できる体制はできている。障がい福祉サービス事業者が主催する福祉フェアに参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	全員で受けられない為、研修をうけたスタッフは必ず報告書を作成し、回覧で流し全員が確認できるようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	児童館等でイベントがある際は、参加している。市のイベントや図書館・交流館などの公共施設を利用している。	時々、公園などで地域の子どもの交流もあるが交流する機会が少ない。今後、安全に配慮し交流ができるように計画していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時やシステムの連絡帳機能を使い1日の様子を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	玄関など目立つ場所に掲示している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に専門用語を使わずわかりやすく説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		見学や契約時、モニタリングでヒアリングを行い、スタッフと共有している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時やお迎えに來られた際に相談できる環境づくりをしている。必要時、面談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	3	保護者会の開催については、要望が多ければ検討していく。モニタリング時にきょうだいと一緒に來られた際は、一緒に活動や自由遊びをしてもらっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情マニュアルが設置されている。また保護者には、利用契約時に重要事項で説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		HPにあるブログやSNS、システムを利用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵のかかる書庫に保管し、職員以外が見れないようにしている。ブログでは子どもの個人情報か漏れないように留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		聞く情報だけではなく、視覚的に伝えるようにしている。絵カードなどを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	営業時間中に行われる地域のイベントに参加している。招待することは安全を担保するため現在の所考えてはいない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		国や市の指示に基づいてマニュアルを設置している。年1回見直しを行っている。定期的に防犯・避難訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPに基づき定期的に避難訓練を行っている。長期休暇などを利用して防災センターへの見学に行き防災意識を高めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学時に聞き取りを行っている。契約時に対処方法などを確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に確認し、職員内で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		国や市の指示に基づいてマニュアルを設置している。年1回見直しを行っている。定期的に研修と訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		ホームページを使い周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		発生後速やかに上司に報告し、翌日には全職員に共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に1回必修研修をしている。その他にも積極的に研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		契約時に説明をしている。実際にする場合は、マニュアルに沿って必ず保護者の了承を得て行う。現時点で実際にしたことはない。		